

平成31年3月市議会定例会

消 防 局

議案説明資料 (当初予算分)

目 次

1	平成31年度消防局所管予算(案)総括表	1頁
2	職員研修費について (救急高度化整備事業)	2頁
3	分団運営活動費について (消防団活性化事業)	3頁
4	消防水利整備事業費について	4頁
5	消防車両等整備事業費について (災害対応用資機材等の整備事業)	5頁
6	消防車両等整備事業費について (消防車両等購入整備事業)	6頁
7	消防車両等整備事業費について (消防活動用機械器具等維持管理事業)	7頁
8	消防施設整備事業費について (大沢野消防署改築事業)	8～11頁
9	消防施設整備事業費について (分団器具置場改築事業)	12頁
10	消防施設整備事業費について (施設等改修修繕事業)	13頁
11	消防施設整備事業費について (消防総合情報管理システム整備事業)	14・15頁
12	継続費について	16頁

1 平成31年度消防局所管予算(案)総括表

一般会計

(単位：千円)

区分 予算科目 (款・項・目)	平成31年度 当初予算(案) A	平成30年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A-B	増減率 A/B
(款9) 消防費	5,694,308	4,565,969	1,128,339	124.7%
(項1) 消防費	5,694,308	4,565,969	1,128,339	124.7%
(目1) 常備消防費	3,753,989	3,731,751	22,238	100.6%
(目2) 非常備消防費	374,115	380,915	△6,800	98.2%
(目3) 消防施設費	1,566,204	453,303	1,112,901	345.5%
消防局合計	5,694,308	4,565,969	1,128,339	124.7%

2 職員研修費について (救急高度化整備事業)

1 予算額

5,119千円

2 目的

傷病者の救命効果の向上を目的とした救急高度化整備事業の一環として、救急救命士の養成を進めるものです。

3 事業内容

国が定める「消防力の整備指針」の基準を参考とし、救急自動車1台に救急救命士が常時1名以上乗車できるよう計画的に養成しております。

今後とも、市民の負託に応えるため継続的に(一財)救急振興財団の研修所へ職員を約6ヶ月間派遣し、国家資格である救急救命士の資格を取得させるものです。

4 養成経過及び予定

年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
養成人員	2	2	2	2	2

※ 平成32年度は計画数

3 分団運営活動費について (消防団活性化事業)

1 予算額

11,537千円

2 目的

東日本大震災において、多数の消防団員が犠牲になったことを契機として、平成26年2月に「消防団の装備の基準」(昭和63年消防庁告示第3号)が改正され、また、近年、地震や台風、集中豪雨が増加傾向にあることから、消防団員の災害現場活動の充実と安全確保を図るため、救助用半長靴を計画的に整備するものです。

3 事業内容

救助用半長靴を2か年で女性消防団員を除く消防団員に整備するものです。
(2か年計画の2年目)



平成26年2月公示 消防団装備対象品

救助用半長靴

4 消防水利整備事業費について

1 予算額

22,259千円

2 目的

国が示す「消防水利の基準」を指標とし、地域における水利の状況を考慮して、消火栓を設置するものです。また、地権者から撤去要望のある防火水槽を取り壊し原状回復するものです。

3 事業内容

(1) 消火栓	新設	3基
	増設	1基
	移設	33基
(2) 防火水槽	取壊し	1基

5 消防車両等整備事業費について (災害対応用資機材等の整備事業)

1 予算額

64,168千円

2 目的

長年の使用により老朽化している支援車を更新整備するものです。また、消防艇「神通」の老朽度調査を実施し、その結果に基づき整備事項を検討するものです。

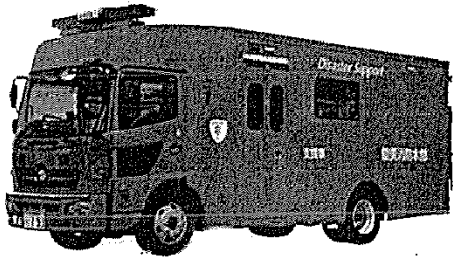

3 事業内容

(1) 支援車の更新整備

支援車Ⅲ型 1台 (富山消防署)

(2) 消防艇「神通」老朽度調査業務委託

(参考図)

支援車Ⅲ型	消防艇「神通」老朽度調査
	
<p>広域応援時に必要な人員及び資機材等を搬送する車両</p>	<p>船体や機器類を診断して現状を把握し、整備事項を検討するもの。</p>

6 消防車両等整備事業費について (消防車両等購入整備事業)

1 予算額

145,556千円

2 目的

長年の使用により老朽化している消防車両を更新整備するものです。

3 事業内容

(1) 常備消防車両3台の更新整備

- ①水槽付消防ポンプ自動車 2台 (富山消防署、富山消防署南部出張所)
- ②高規格救急自動車 1台 (富山消防署中分署)

(2) 非常備消防車両3台の更新整備

- ①消防ポンプ自動車 2台 (草島分団、山田南部分団)
- ②小型動力ポンプ積載車 1台 (細入北分団 (庵谷))

(参考図)



7 消防車両等整備事業費について (消防活動用機械器具等維持管理事業)

1 予算額

12,834千円

2 目的

消防庁通知、「消防車両の安全基準の周知徹底について」に基づき、15mはしご車の分解整備をするものです。

3 事業内容

15mはしご車（富山消防署東部出張所配置）の上廻り（梯子装置関係）の分解整備。

4 その他

2ヵ年で全体を分解整備するものとし、平成32年度に下廻り（油圧装置関係）を実施予定。

(参考図)



8 消防施設整備事業費について (大沢野消防署改築事業)

1 予算額

200,110千円

2 目的

現庁舎は築40年が経過し（S53年建築）老朽化が著しく、防災拠点としての機能が低下しており、また耐震診断等において耐震強度を有していないと判定されたことから、改築し災害拠点としての機能の向上を図るものです。

3 事業内容

【建物概要(案)】

敷地面積：6,037.16㎡

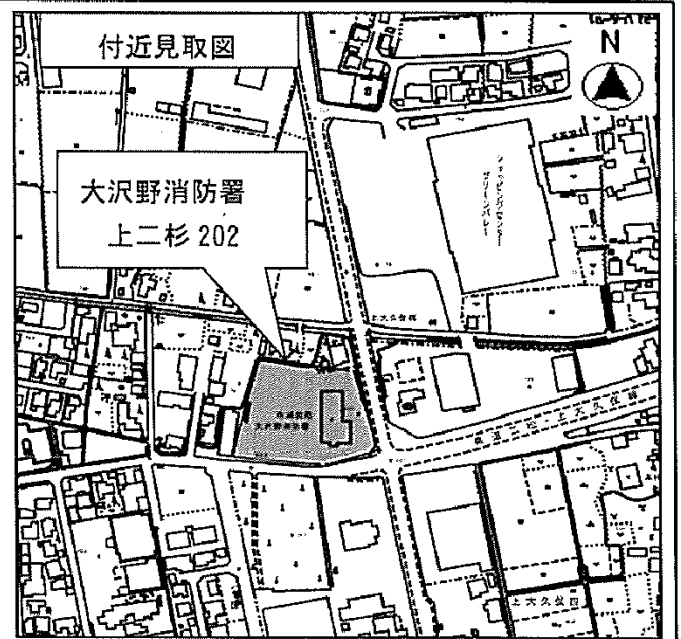
建物構造：S造2階建て

建築面積：約1,040㎡

延べ面積：約1,350㎡（訓練塔併設）

- 1階 車庫、事務室、出動準備室、
防火衣乾燥室、災害対応資機材
倉庫、仮眠室（女性仮眠室含む）等
- 2階 会議室・消防団活動室、研修室、
女性分団活動室等

配置車両：7台



4 事業計画

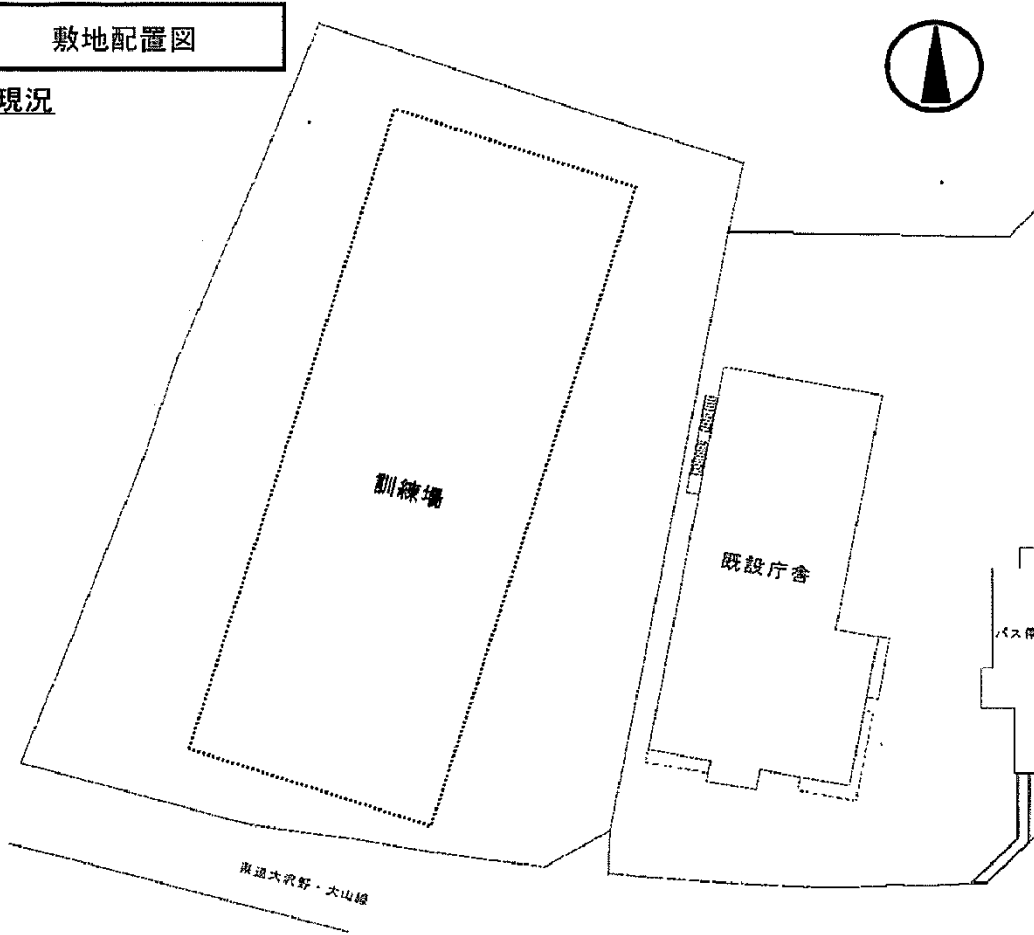
平成29年度 庁舎躯体に係る調査

平成30年度 実施設計

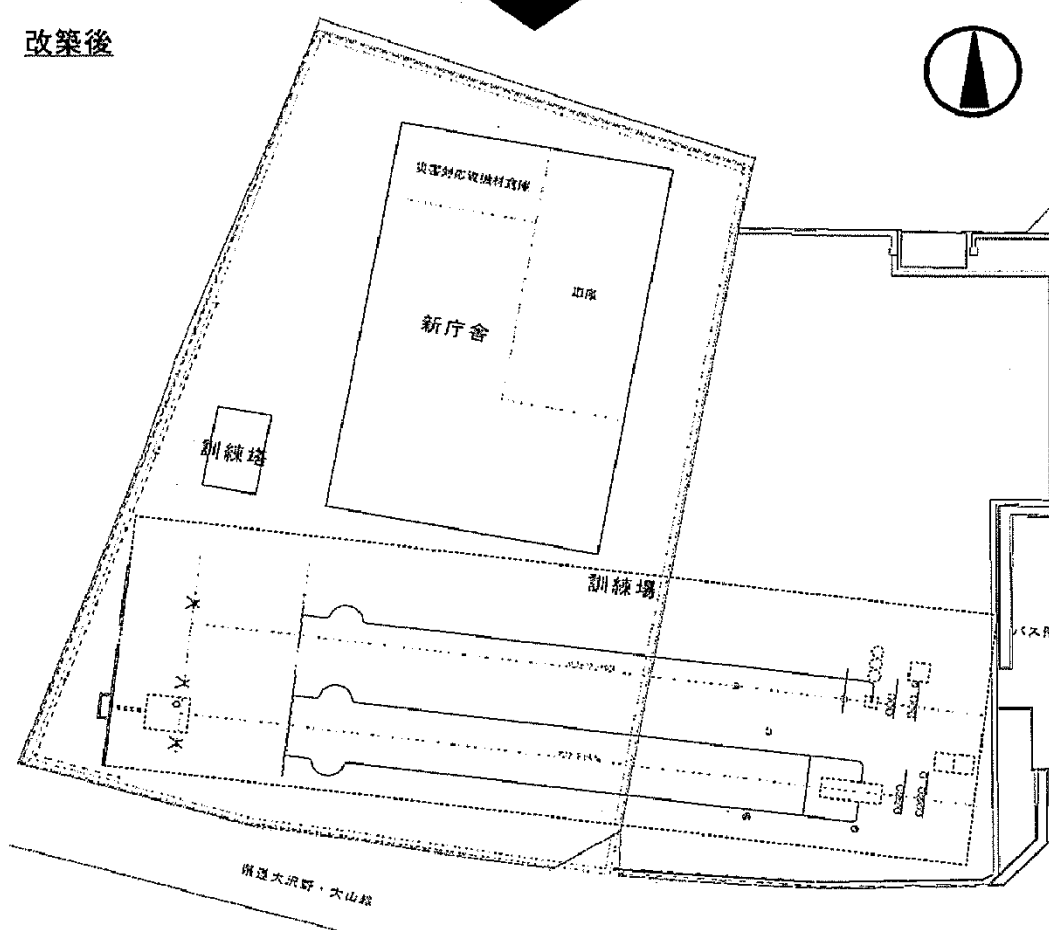
平成31年度 } 改築工事
平成32年度 }

敷地配置図

現況



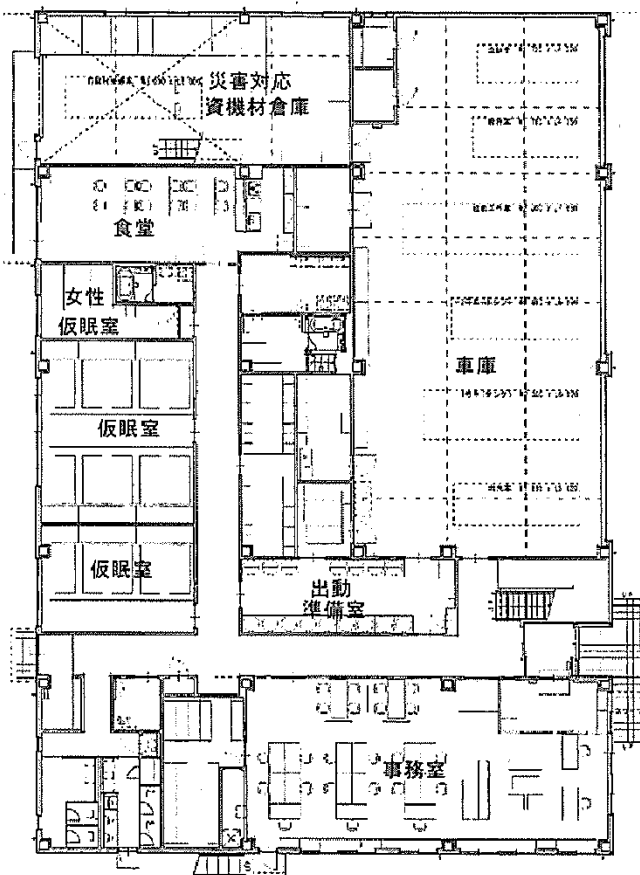
改築後



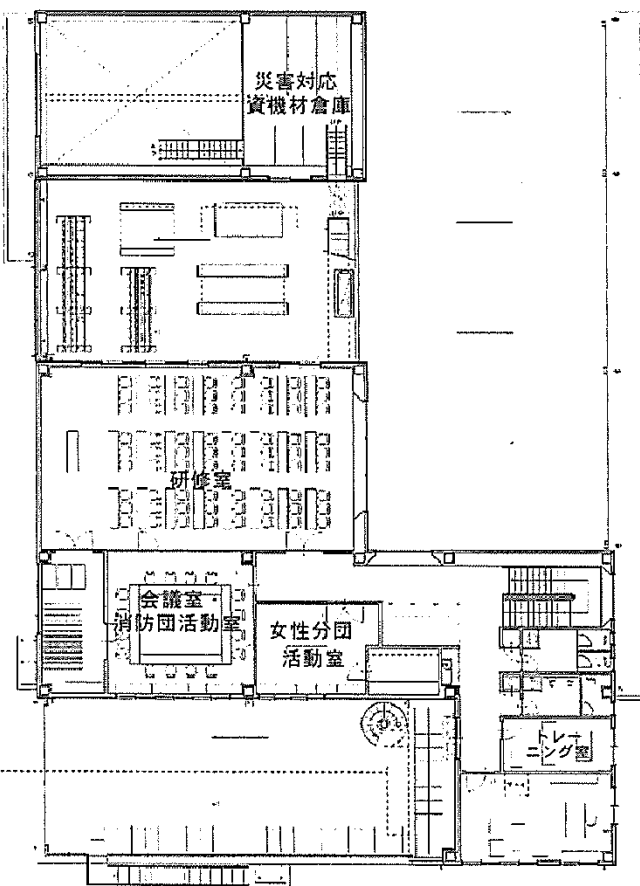
平面図(案)



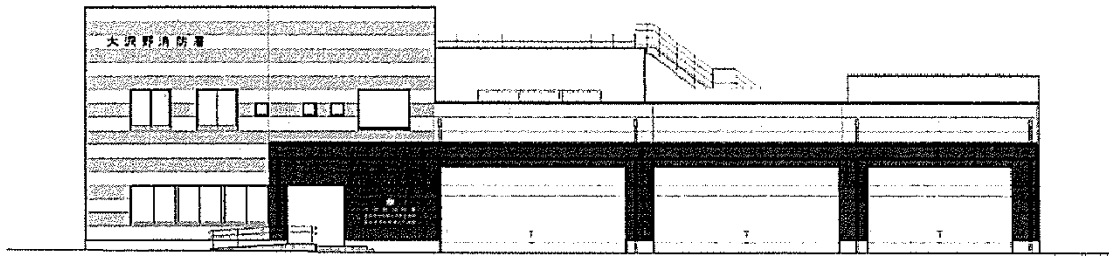
1階



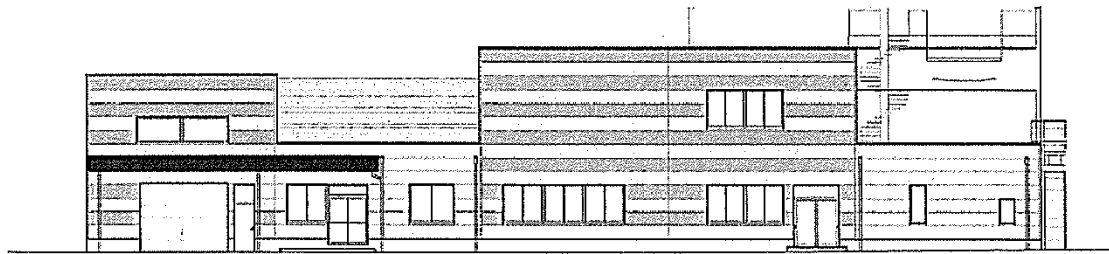
2階



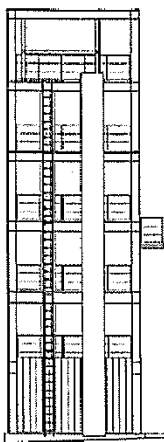
立面图 (案)



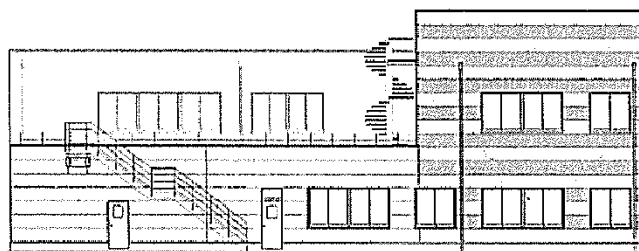
東側立面图



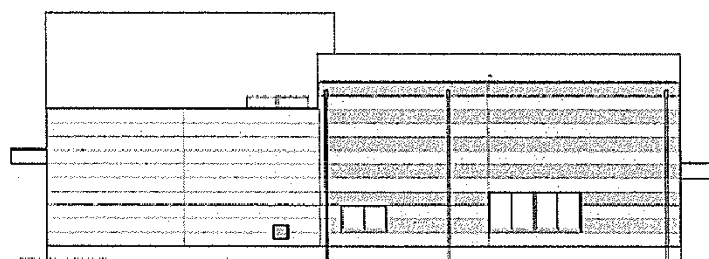
西側立面图



訓練塔



南側立面图



北側立面图

9 消防施設整備事業費について (分団器具置場改築事業)

1 予算額

100,481千円

2 目的

老朽化が進んでいる地域の防災拠点である分団器具置場を、計画的に建替え整備するものです。

3 事業内容

(1) 建設工事等 44,500千円

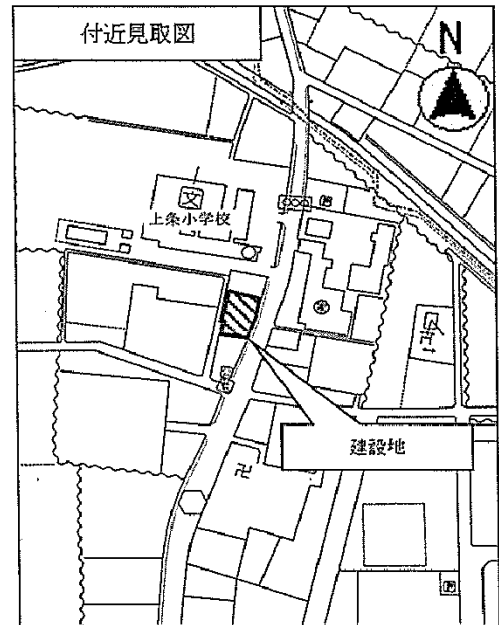
月岡分団

(S54年建築(築40年))

(2) 建設工事等 46,581千円

上条分団

(S50年建築(築43年))



(3) 実施設計 9,000千円

倉垣分団 (S54年建築(築40年))

池多分団 (S53年建築(築40年))

(4) 敷地境界確定測量業務 400千円

愛宕分団

10 消防施設整備事業費について (施設等改修修繕事業)

1 予算額

19,000千円

2 目的

婦中消防署は築23年が経過し、陸屋根が経年劣化により防水機能が著しく低下しており、雨漏りによる建物躯体の劣化、漏電等の被害を防ぐために補修するものです。

3 事業内容

塩ビシート防水 960 m² (2階屋上部分)

4 その他

・建物概要

所在地：富山市婦中町笹倉128

構造：RC造2階建て

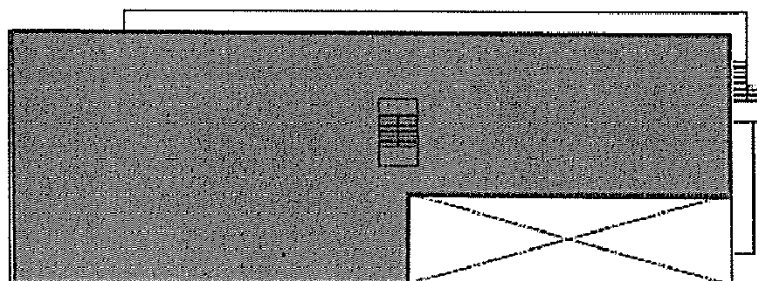
建築面積：1,225.67 m²

延床面積：2,095.25 m²

竣工年月：平成7年12月

・施工範囲

屋上平面図



...施工範囲(2階屋上部分)

11 消防施設整備事業費について (消防総合情報管理システム整備事業)

1 予算額

956,114千円

(平成30・31年度の2か年事業 全体契約額 970,920千円)

2 目的

現在のシステムは、119番の受信から出動車両の選定を迅速、的確に行うため24時間、365日稼働しており、市民生活には必要不可欠なものです。

このシステムは、平成15年度に構築し、平成23年度には部分更新を行い運用していますが、平成31年2月末にリース契約が満了し、さらには、運用から約15年が経過する機器は、保守部品のメーカー保管期間が終了し、修理が困難となる恐れがあります。

このことから、平成30年度に詳細設計を行なったもので、その設計を基に平成31年度に整備するものです。

3 事業内容

消防総合情報管理システムの整備

・事業計画

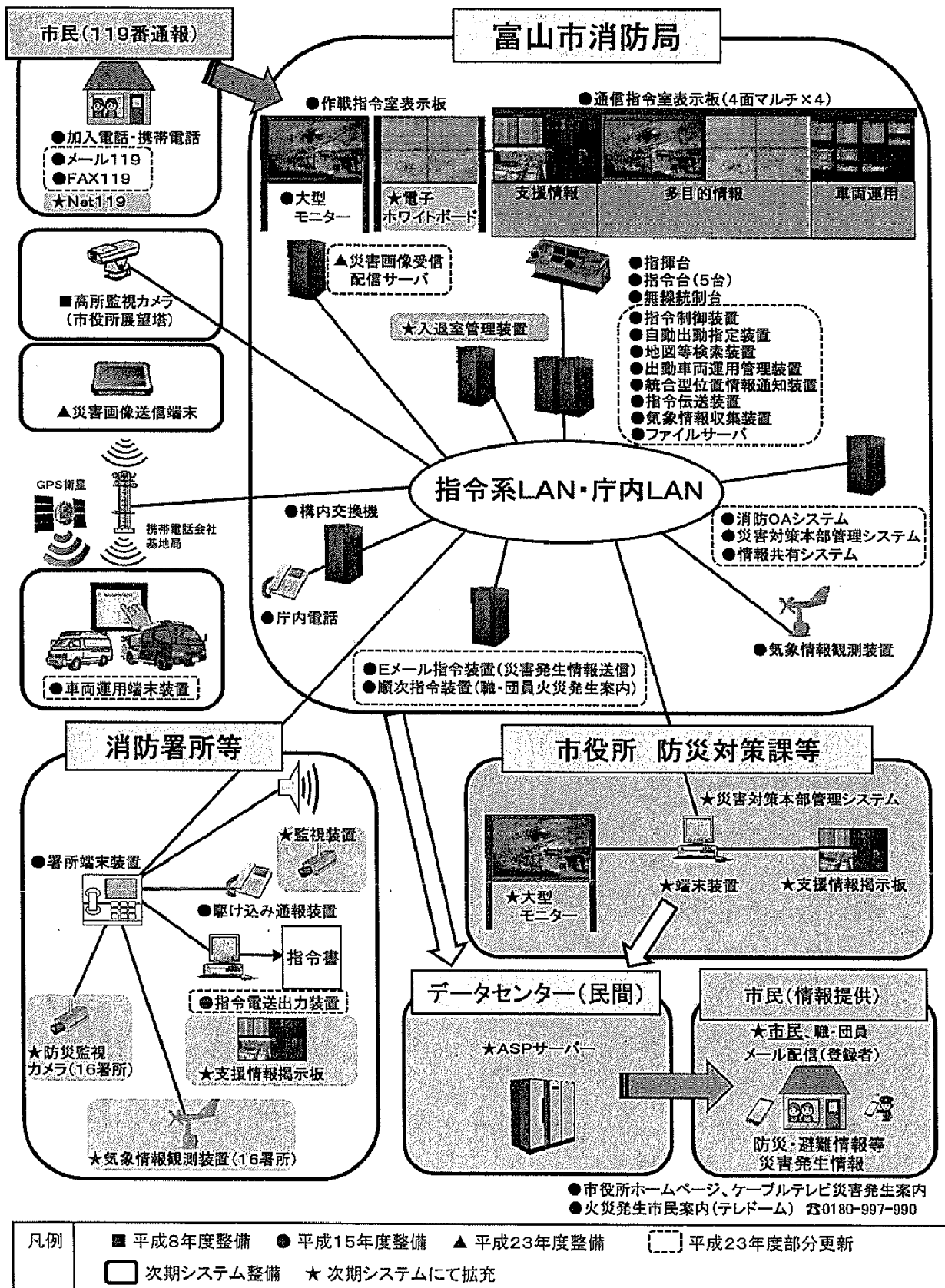
平成29年度 構築支援業務

平成30年度 詳細設計

平成31年度 整備

平成32年度 運用開始

4 システムイメージ図



12 継続費について

1 第2表 継続費

(単位 千円)

款	項	事業名	総額	年度	年割額
9 消防費	1 消防費	消防施設 整備事業費 (大沢野消防署)	759,500	平成31年度	199,610
				平成32年度	559,890

2 事業内容

大沢野消防署改築事業

3 内 訳

(単位 千円)

	平成31年度	平成32年度
① 設計意図伝達業務	266	827
② 工事管理業務	2,044	6,363
③ 建築主体工事	192,100	365,223
④ 電気設備工事	2,180	101,656
⑤ 機械設備工事	3,020	85,821
合計	199,610	559,890